

KOMOTO STYLE

家づくり応援情報誌

Vol.11

2015 Winter-Spring

ハワイを日常に感じる、
リラックス空間。

Contents

新築ユーザーレポート
「ハワイを日常に感じる、リラックス空間」

リフォーム物件レポート「2014年の大改修」

★プロが教える家づくり ★知っとくガイド

超断熱と省エネ「換気システム」

★おすすめランチ



HAWAIIAN HOUSE

NEW HOUSE USER'S REPORT



リゾート大好きファミリー



差し込む光は夏でも柔らかいガラスブロック



端材で遊び心を
プラスした玄関の壁



天井高2,800mmの
シーリングファンがリゾート感を演出
調光具合でキラキラと光る壁はエコカラット

ハワイを日常に感じる、リラックス空間。

1月初旬。雲ひとつない冬晴れの日に関口邸へと伺うと、お庭に植えられた立派な椰子の木が目飛び込んできました。関口夫妻の家づくりのテーマは、挙式を行った思い出のハワイ。コンドミニウムのようにゆったりと過ごせる空間を実現させるまで、そして住み心地についてお話を伺いました。

日差しが柔らかく差し込む開放的なリビング。なかでも通常よりも300mm高い2,800mmの天井に取り付けられたシーリングファンは、リゾート感を醸し出しています。「挙式で初めてハワイを訪れたのですが、その雰囲気が入って」と語るのは、奥さま。楽しくはしゃぐ二人のお子さんを相手にしながらも柔らかい表情でお話してくださる姿は、この家が癒しの空間だからかもしれません。

「どこかにハワイのリゾート感を取り入れたい」と考えていた関口夫妻。しかしそれ以外は家づくりに関して漠然としたイメージしか持っておらず、悪戦苦闘したとのこと。「できるかどうかは別として、やりたいと思ったらまずは住宅雑誌の写真を担当営業マンの富岡さんに見せてはね」と話す奥さまに、「無理難題を色々聞いてもらって。最終的に1年もの期間がかかりました」と続けるご主人。しかも当初の予定よりも約2ヶ月完成が遅れ、2014年4月に完成した関口邸。その理由について、「大雪で工場がストップして、資材が入らな

くてね」と語る富岡さん。やはり家づくりは何が起るかわかりません。



関口夫妻が家を建てようとしたきっかけは、ご主人の通勤やお子さんの幼稚園の入学などに加え、8%の消費増税があったから。増税前にどうしても完成させたかったとのこと、ぎりぎり滑り込みセーフとなった模様です。続けて、「消費増税前ということで、我が家以外にも家を建てるママ友が多くて。だから自然と家の話が多くなったり、それが情報交換にもつながりました」と話す奥さま。活きた情報こそが、家づくり成功の秘訣なのでしょう。

「住宅展示場も参考程度に見て回ったのですが、広さが現実的ではなく。しかも展示場を見るとあれもこれもやりたくなくて、自分たちがやりたいイメージがわからなくなって逆効果でした」とのこと。「友人が建てた家の方がよっぽど役に立ちましたね」と話す奥さまですが、現在はまだ家を建てていないママ友から、「いいね。どこで建てたの?」と聞かれるようで、今後は関口さんが「アドバイザー」にまわる番。これから家を建てる方に向けてのアドバイスは?と伺うと、「展示場などを訪れる前に、漠然とでも良いので、まずは夫婦でイメージを固めることをおすすめします」と教えてくださいました。「私たちは夫婦の意見(テイスト)が合ったからスムーズに進んだものの、それでも家づくりは時間が非常にかかります」と。知識がないままの状態で夫婦の意見をまとめてからスタートすると、色々な情報を見ても最初のコンセプトとズレが生じないと思うと、頼もしいアドバイスをいただきました!

リビングの隣には、チャコールカラーの琉球畳に落ち着いた色の壁紙がマッチする、ご主人こだわりの和室が。ハワイの空間に和室がマッチするのも、「関口さんのセンスの賜物!」と話す富岡さん。「和室から見える坪庭が欲しかった」と語るご主人ですが、予算などの面で断念。その他にもキッチンカウンターにタイルを貼るなど細かいところで諦めた部分はあるようですが、「ほぼイメージどおり」と、満面の笑みです。夜、照明を少し落としてソファで映画を楽しむときは、お子さん二人を育てながら日々忙しく過ごしている関口夫妻のつかの間の休息时间。ハワイのリゾート空間を自宅に実現したからこそ楽しめる、関口邸ならではの贅沢ですね。



ご主人
こだわりの和室



木々が見える
カウンターテーブルで
ピクニック気分ランチを



2014年の大改修!

家まるごと大規模リフォームで利便性と快適性を手に入れた館林市の飯塚邸をご紹介します。
 「住む人にやさしい家になりたい」、「母の使い勝手の良い水回りにしたい」…
 「定年前の節目として、大きな工事をしたかったんです。」
 お施主様の要望を叶えるために奮闘した河本リフォームセンターの大塚所長にお聞きました。

さて、どんなふうに変ったのか?

Before



●昭和の佇まい

After



●まるで新築の家のように変身～

既存の構造を変えずに安全で快適な改修工事は、
 難易度が高いと話す大塚所長。

その工夫どころは?

1 リビングを広くしたい



新たに梁補強することにより構造体としての強度を上げて広々空間を実現します。

2 危険な急階段を段数を増やしてゆるやかに



〈施工前〉 〈解体工事〉 〈造作中〉 〈改修後〉

手摺も付いて、これなら安全です。

3 使い勝手が断然よくなったキッチン



対面カウンターでお料理を運びやすくなりうれしいたっぷり収納。

4 生まれ変わった安全・快適なトイレ



広々とした安全なトイレに改善。

お施主様の声

「1階の下屋部分にトップライトを付けたのですが、これが大当たりです。」
 「今までは薄暗かった中廊下とダイニングが明るくなって居心地が良くなりましたね。」
 大塚所長の提案力はいつもながら流石です。

大塚所長より

「この機会に断熱材をたっぷりと仕込んだのでこの冬は寒さ知らずでしょうね」「IHクッキングヒーターやエコキュートに変えて、より安全になり、オール電化で経済的に」「住み心地が良くなったよ!と、お施主様に言われると大きな喜びです。」「永年、住み続けた家には愛着があるので壊すのはちょっと…」という人って結構多いんです。「だったら立替えずにリフォームするという選択肢もあるんです。人も家も成長していくんですね。(笑)」



今号のテーマは『2015年の住宅事情』

今号のユーザーレポートの担当営業マンでもある、おなじみ富岡さん。
 10%への消費増税は先送りになったものの、住宅事情はどうなる? 教えてください。

家がプロが教える

アベノミクスによる物価上昇により、今年は1割強もの資材の価格上昇が考えられます。そのためこれから買う方は、これまで予想していた住宅価格よりも若干高く感じるのでは。

さらにデフレ期間に後継者を育ててこなかったツケが、ここにきて現れています。職人さんの高齢化と後継者不足が相まって、仕事があってもこなすのが大変。だからおのずと人件費も上がるため、「資材+人件費」の両方で住宅価格はこれまでよりも高くなりますよね。

…消費税アップは先送りになりましたが、住宅購入は増える? 減る?

8パーセントの増税前に一つの波がやってきて、本来であれば今年二つ目の波が来ると業界内では言われていました。しかし増税が先送りになった分、全く読めなくなってしまいましたね。消費税は上がらなかったけれども、

まだまだ給料は物価上昇に追いついていない。だから住宅購入の波は、停滞的になるかもしれません。けれども前から言っていますが、「住宅は家族が必要だと思えば買いたいとき!」なので、経済情勢はあまり関係ないですよ。

…住宅購入に経済情勢は関係ないのですか?

住宅購入は投資ではありません。マンションであれば投資用物件もありますが、家はご家族が永住するもの。だから、景気に流されて購入するものではないのです。お子さんの成長やライフイベントに合わせて、「今だ!」と思ったら今年絶対買うべきですし、「もう少し待とう」と思ったら待つべきですね。建築業界に限らず、2015年は1ヶ月先の情勢も読めない波乱の年。だからこそ「世間に振り回されず、欲しいときに買いたい」と、私は常日頃からお客様にお話しているのですよ。



軒と庇をつけよう!

従来の日本の木造住宅には「軒(のき)」と「庇(ひさし)」があった。最近の住宅をみると、軒と庇が見当たらないのが増えていく。確かにスッキリとしてカッコ良くみえるが、ここで軒と庇の役割を考えてみよう。

北関東は、夏は蒸し暑く温度・湿度が非常に高く雨も多い。冬は、季節風(赤城おろし)が強く吹いて非常に乾燥する地域である。軒は屋根の一部である為に、直接外壁に掛かる雨を少なくし、外壁への直射日光を防いでくれる事で、家の耐久性をよくしている。空気の対流を生み出すこともしてくれる。自然な形で、光と影が調和することも大切な生活環境の一部であるし、心地良い雰

囲気を醸し出す空間を作ってくれる。そして、冬は、窓辺には長く暖かい光が射し、夏は短く、強い光を和らげてくれる。軒と庇は日常の光の変化に対応して私達の生活の助け舟にもなっている。夏の暑さ、冬の冷たい季節風を、如何に生活の一部に取り込んで軒と庇の形状でコントロールすることは、住宅の長いスパンでの大切な要素になっていますね! 文責/半田 公作



超断熱と省エネ

SUPER-INSULATION & ENERGY-SAVING

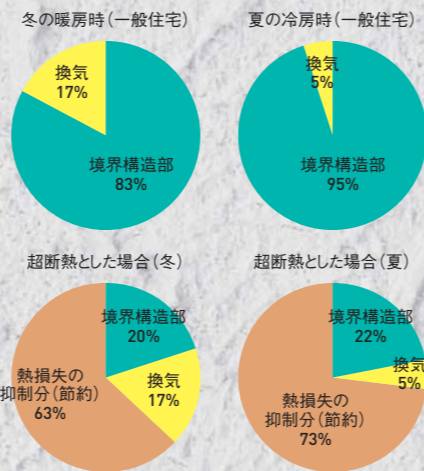
換気で熱が逃げる？住宅の熱損失を大幅に抑制するには、境界構造部(開口部・外壁・屋根・床)の断熱性能を圧倒的に上げます。同時に住宅の気密性も上げる事が大切です。なぜなら隙間風が有っては、そこから熱がどんどん逃げて行ってしまいますから。

しかし、気密性を上げると今度は、室内の空気が密閉されるため、人が健康的な生活を過ごすには計画的な換気が必要となります。どのくらい必要かというと、「2時間で家全体の空気が入れ替わる程度(換気回数0.5回/時)」です。この換気によって、冬の暖房時では、せっかく暖めた空気を2時間毎に外へ捨てることになってしまいます…。

01 換気による熱損失も抑制する

この換気による熱損失を、省エネ基準(1992年)に基づく住宅モデルでの計算例で見ると、冬の暖房時は、住宅全体の熱損失の17%にもなります。夏の冷房時はその影響が少なく5%です。冬の一般住宅では17%と、換気以外の境界構造部(開口部・外壁・屋根・床)からの熱損失83%に比べると2割程度の損失量ですが、これが超断熱住宅になると、境界構造部からの熱損失は、83%から20%へも抑制されるため、換気による熱損失(17%)は、境界構造部に匹敵する損失量となってきます。したがって、究極の省エネ住宅を実現するには、この換気による熱損失も抑制する必要があります。

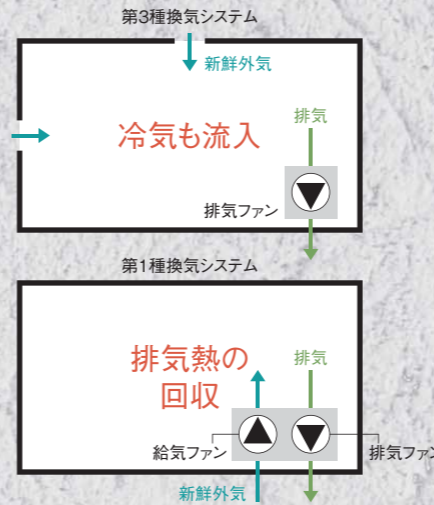
●住宅の熱損失の割合 ※境界構造部=開口部+外壁+屋根+床



02 排気熱を回収する

高断熱・高气密住宅において一般的に用いられる換気の方法は、第3種換気システムです。これは排気ファンによって強制的に室内の空気を外へ排気することで室内が負圧となり、給気口から外の新鮮空気が自然と室内へ入ってくる換気方法です。したがって、冬の場合は、給気口から冷たい外気が常に入ってくる状態となり、熱源がない部屋は、次第に寒く冷たされてしまう…といった事態が起こってしまいます。これに対し、排気だけでなく給気もファンを使う第1種換気システムでは、排気と給気を一箇所に集められるため、外へ捨てていた排気熱をそこで回収すれば、大幅な熱損失の抑制となります。

●住宅の換気方法



03 スウェーデンの換気システム

第1種換気システムに対応した最新型のスウェーデン製熱交換機では、実に84%の熱を回収する性能を誇ります。つまり、換気による17%の熱損失は、3%程度にまで抑制できる計算(17×(1-0.84))です。スウェーデン国立試験場(SP)の結果によると、例えば、室温が21.7℃で外気が2.8℃の場合、この熱回収によって、外気を19.4℃まで上げてしまいます。本来ならば、外気2.8℃を室温21.7℃まで上げる暖房が必要なわけですが、これなら、19.4℃から21.7℃へ上げるだけの暖房で済んでしまいます。つまり、圧倒的に省エネ!になるのです。

●スウェーデンの熱交換機の性能

寒さレベル	寒い	かなり寒い	異常に寒い
外気温(℃)	7.0	2.8	-11.7
排気温(℃)	23.1	21.7	21.1
給気温(℃)	22.9	19.4	18.6
住宅スケール	45坪*	60坪*	45坪*
排気風量(m3/h)	203	284	205
給気風量(m3/h)	202	264	178

※換気回数0.5回/時、天井高2.5m程度

04 空気環境まで制御する

この熱交換機には二つの高性能フィルターが装備されています。一つは新鮮外気用で、フィルター性能は F7レベルです。それは、「0.4μmの物質を80~90%除去する性能」で、花粉やPM2.5等も除去してしまう程のもので。もう一つは、排気用で、主に内部の熱交換素子を汚さないものです。換気をしながら屋外の汚染物質をシャットアウトし、健全な空気環境をつくることまで出来るのです。

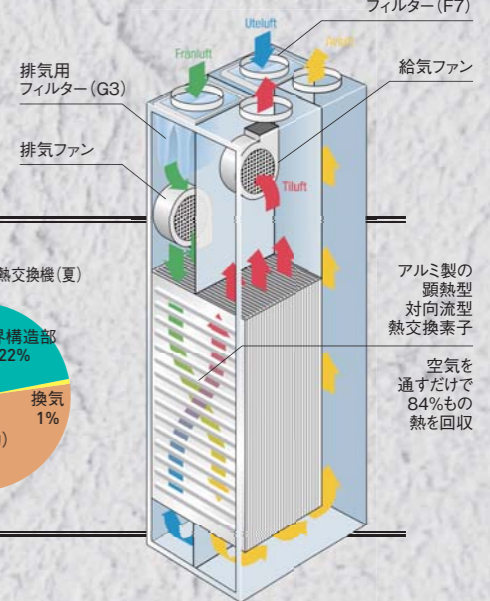
●フィルターの性能

新鮮外気用フィルター	F7レベル:0.4μmの物質を80~90%除去する性能
排気用フィルター	G3レベル:可視物質を80~90%除去する性能

(参考)

PM2.5	大気中に浮遊する直径2.5マイクロメートル(μm)以下の微粒子
スギ花粉	30μm
髪の毛	70μm

●スウェーデン製の熱交換機

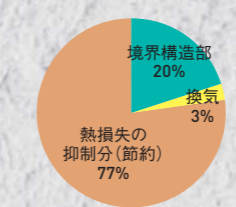


Conclusion

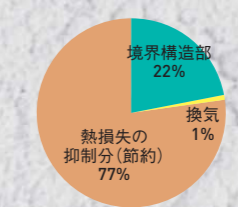
究極の省エネ住宅である
超断熱の基本仕様

このように、住宅の開口部・外壁・屋根・床といった境界構造部の断熱性能を圧倒的に上げるだけでなく、気密化によって必要となった計画換気で生じる熱損失も大幅に抑制することで、住宅の熱損失をほとんどなくす事が可能となります。圧倒的な断熱性能に、スウェーデンの換気システムを組み込むことで、一般住宅に比べ、冬の暖房時、夏の冷房時共に、実に77%も節約となります。これが、究極の省エネ住宅である超断熱の基本仕様です!

超断熱+スウェーデン熱交換機(冬)



超断熱+スウェーデン熱交換機(夏)



待望の超断熱住宅 館林展示場 2015年夏オープン!

猛暑でも涼しい住宅を実感ください。

ご期待ください

無暖房住宅
ノウハウ

冷暖房エネルギーを限りなくゼロに近づけ節約しながら、快適な住環境を実現するために、無暖房住宅のノウハウを取り入れます。

和風モダンな
デザイン

スウェーデン製高性能建材を使って、スウェーデン本国最高レベルの断熱性能の家を、和風モダンデザインで実現します。

必要
最低限住宅

子育てを卒業されたご夫婦や少人数世帯にとって最適な住居スペースを提案し、バリアフリー化、コンパクト設計を奨励します。

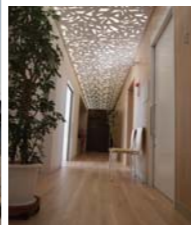


はまだクリニック

内科 / 消化器内科 / 肝臓内科

昨秋、館林市内に開院しました「はまだクリニック」です。安心して気軽に相談できるクリニックを目指し、スタッフ一同努力精進して参ります。末永くよろしくお願いたします。

当社
施工



はまだクリニック
内科 / 消化器内科 / 肝臓内科

〒374-0053 館林市赤土町119-2
TEL.0276-80-1100
http://hamada801100.byoinnavi.jp/
●診療時間 / 9:00~12:00[月~土]
15:00~18:00[月~金(水を除く)]
●休診日 / 日・祝

おすすめランチ

創業100年! 麺-1グランプリ2連覇の原田製麺の店

あったか、ほっこり
うどんと「コーヒ」のコンビを
満喫してきました。

★コウモトグルメライター「健太郎」がお届けしま〜す。★

12月中旬の肌寒い日に、
板倉町の「うどんCafe はらだ」さんで
ココロもカラダも癒されました〜



出来上がりを待つ間に小皿で頂く「利きうどん」を初体験。



●板倉汁のもりうどん……………¥800
季節の野菜とキノコたっぷりのあったか「つけ汁」。コシのある麺を大根、人参、しめじ、長ネギのうま味がしみ込んだ、だし汁でいただく。



●かき揚げうどん……………¥800
サクサクのかき揚げ天ぷらは、玉ねぎの甘さがほんのりと。お好みで「赤糖の塩」をつけていただく。うす味の汁との相性もピッタリ。

新メニュー登場! 数種のスパイスを盛り込んだ本格派「チキンカレーうどん」もおススメです。



スペシャル ブレンドコーヒー

佐野市の人気店「珈琲音(カヒア)」で
修業した奥さまが煎れる珈琲も絶品です。
エチオピア産豆のコーヒーの味も初体験。

カウンターには、お隣、埼玉県加須市からの常連客さんの笑顔。

遠方からこの味を慕って来ているとか。

大正5年創業ということでは今年でちょうど100周年で縁起がいい!

「頑固一徹なうどん」と「煎れたてコーヒーの深い味わい」。

しかも、低温殺菌牛乳や自然の塩など身体にいいものだけを使っている。

おみやげも充実しています。

一度、お出かけしてみは?

僕は、カレーうどんを食べに行きま〜す。



うどんCafe はらだ

呂楽郡板倉町板倉1640 原田製麺工場内 ●定休日/水・日

●営業時間 / 【うどんタイム】11:00~14:00 【Cafeタイム】14:00~16:00

Designer's House M's Court Shiromachi

エムズコート城町

入居者募集!

3月上旬完成予定
当社 設計・施工

●所在地:群馬県館林市城町 ●物件概要:戸建・2LDK・駐車場2台付
●賃 料:68,000円/月

お問い合わせは…

田村商事 / 不動産部 群馬県館林市栄町22-2

TEL.0276-72-4705 FAX.0276-72-5397

次号 予告

超断熱住宅展示場

完成直前・最新情報をお届けします。
乞うご期待!

編集 後記

本号はお客様の大満足の笑顔に加え、営業マンの満面の笑顔もお届けしてみました♪今後も笑顔で丸となってがんばります。超断熱住宅もご期待ください! KOMOTO STYLE 編集委員会

メルマガ

新鮮でお得な情報をお届けします。

配信希望者募集中!

メールマガジン希望の方は、本誌を見学会にご持参ください。

お名前

メールアドレス

@

(パソコン・携帯電話)

スマホをかざすと
公式サイトへ直行!

Download

「COCOAR」アプリをおとしてかざすだけ!

App Store Google play ※無料



STAFF PUBLISHER: Kinsaku Handa
 EDITOR IN CHIEF: Satoru Yamamoto
 EDITOR: Kentaro Kamata / Chiemi Abe / Hirota Kanazawa
 SPECIAL THANKS CREATORS:
W / Natsu Arai, P / Lo-cul P, D / DESIGN NU
 DIRECTOR: COIKI INC.

河本工業株式会社

宅地建物取引業者免許番号 群馬県知事(12)第639号
〒374-0057 館林市北成島町2544 TEL.0276-72-3325 FAX.0276-72-3327

KOMOTO STYLEのホームページ

www.komoto-style.jp

KOMOTO STYLE

検索

本情報誌への掲載や出演のお問い合わせは

info@coiki.net まで。

